

Imaging Team

掲載内容

1) 製品情報

Meta Imaging series ソフトウェア バージョン 7.7.5 がリリースされました。

Chroma 社 フィルターセット 販売中止のラインナップについて

CoolLED 社 pE-100 LED 光源ユニットのラインナップについて

2) 技術情報

Nikon Ti-E と MetaMorph の動作不具合に関して

3) Journal の紹介

明視野画像と蛍光(Pseudocolor 表示)を重ね合わせする Journal について

1) 製品情報

Meta Imaging series ソフトウェア バージョン 7.7.5 がリリースされました。

Meta Imaging series ソフトウェアがインストール可能な System ID でインストール後、アップグレードを下記からダウンロードして頂き、実施して下さい。

<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/>

こちらから ID 番号を入力して Login し、「7.7.5 Update」をクリックします。

※ 32bit OS をご使用の場合は、「MM775-32.zip」になります。

※ 64bit OS をご使用の場合は、「MM775-64.zip」になります。

主な変更点は下記になります。

- Andor 社製 CCD カメラ iXon3 をサポートしました。
- Andor 社製 CCD カメラの冷却温度表示をサポートしました。
- Andor 社製 SDK3 について、SDK version3.1.3.0005.0 をサポートしました。
- Andor 社製 SDK3 について、詳細バージョン情報を確認できるようにサポートしました。
- ORCA-D2 のセカンド CCD フォーカスポジションの Save/Load 機能が追加されました。
- Photometrics LVDS PCI ボードのファームウェア 37 をサポートしました。
- Q-imaging カメラドライバ バージョン 2.0.10 をサポートしました。
- Leica カメラの SDK バージョン 5.1.0.10211 をサポートしました。
- Andor Laser Combiner バージョン 1.0.4.3 をサポートしました。
- Leica DMx000 シリーズのリングライトの設定を保存するようサポートしました。
- Olympus 顕微鏡 Top lens, Field stop, aperture stop を設定できるようにサポートしました。
- Olympus 顕微鏡 コンデンサーの名称を読み込むようサポートしました。
- Prior 社 NanoScan コントローラユニットを RS232 接続で制御できるようにサポートしました。
- 対物レンズ変更時に Journal を設定することができるようになりました。
- Ratio Image で Stack 画像とシングル Tiff 画像からのレシオ画像構築が可能になりました。
- Scan Slide 機能で、スキャン中のハードウェア continuous auto focusing をサポートしました。
- MetaFluor ソフトウェアで 2 台のカメラ制御をサポートしました。
- MetaFluor ソフトウェアで DualView ユニットを使用した場合の各露光時間を異なる値で設定することが出来るようになりました。

詳細は、下記 Web より ID 番号を入力して御確認下さい。

<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/index.php>

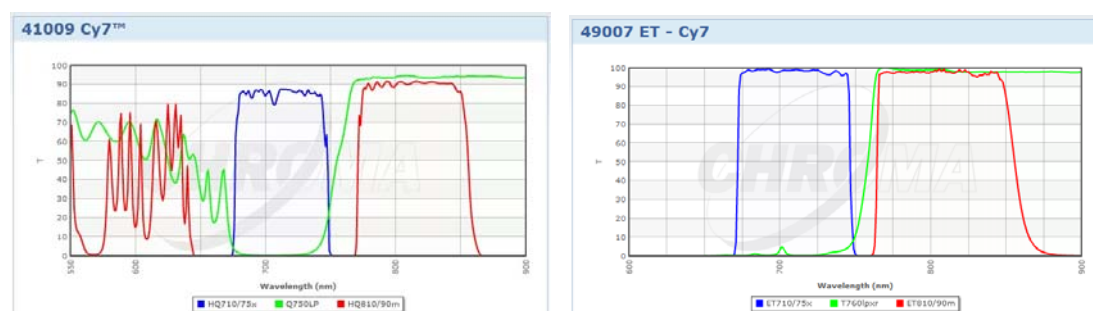
Chroma 社 フィルターセットの販売中止のラインナップについて

Chroma 社のフィルターのラインナップが年々、改良・改善されております。古い型番で残っていたスペックがあまり良くないラインナップが、今回、販売中止となりました。後継モデルがありますので、型番・金額を御注意下さい。主な販売中止の商品とその後継モデルを記載致します。

41000 シリーズ(シングル HQ フィルターセット)

41002・41002a・41003・41006・41009・41010・41030・41033・41037・41041

<Cy7 用 右)41009 が販売中止 左)49007 が後継モデル>



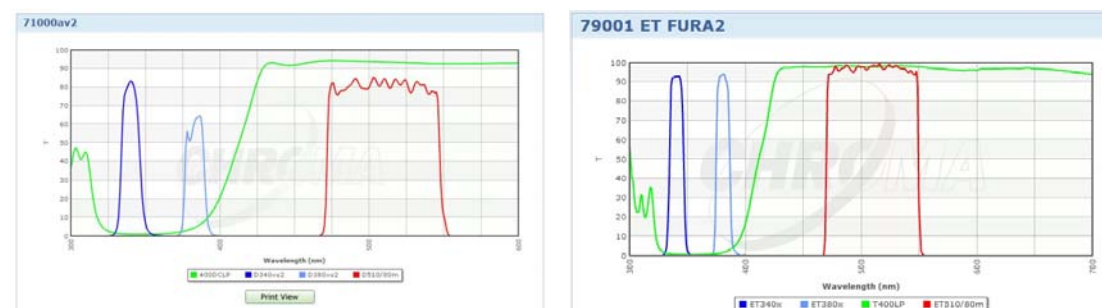
51000 シリーズ(Dual バンドフィルターセット/ 励起・ダイクロ・吸収が各 1 枚のセット)

51002・51005・51010・51014

70000 シリーズ(Dual 励起、もしくは Dual 吸収フィルターセット)

71000av2・71000v2・71001・71001a・71002・71002a・71007・71007a・71008・71008a・
71009・71010・71010a・71011・71014・72000v2・73000v2・74000v2

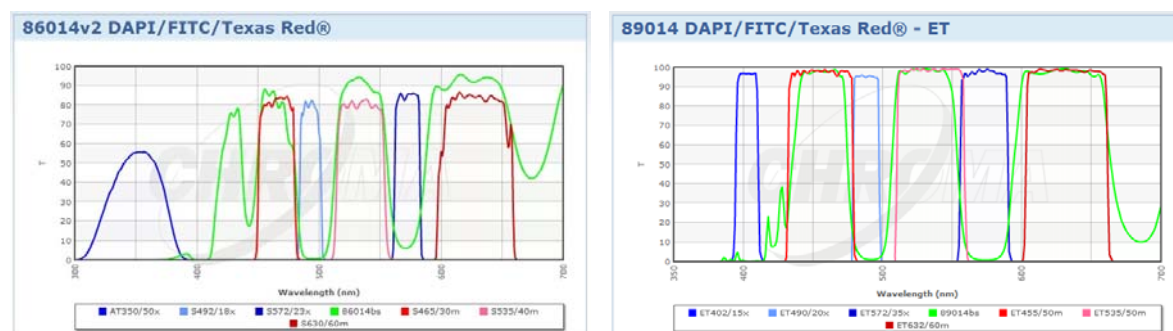
<Fura2 用 右)71000av2 が販売中止 左)79001 が後継モデル>



86000 シリーズ(マルチバンドフィルターセット)

86010・86013v2・86014v2・86015 から 86026 の全てのモデル

<DAPI/FITC/TexasRed 用 右)86014v2 が販売中止 左)89014 が後継モデル>



CoolLED 社 pE-100 LED 光源ユニットのラインナップについて

CoolLED 社 pE-100 LED 光源ユニットには、現在、価格表で 2 種類を御紹介しています。

#244-87-XXX-YYY-40 LED 光源ユニット (*XXX には波長、YYY には顕微鏡用フランジ)

¥ 250,000-(定価・税別)



#244-87-XXX-LLG-40 電気生理用途向け LED 光源ユニット(1m ファイバ)

¥ 320,000-(定価・税別)



こちらに更に 2 つのランナップが増えました。

#244-87-XXX-WA1-40 ワイド照射型 LED 光源ユニット

照射エリアを広げたタイプになります。

¥ 320,000-(定価・税別)

#244-92-XXX-EB1-40 漏れ加工型 LED 光源ユニット

こちらは、顕微鏡フランジの隙間や、空冷用の形状からの LED の漏れをブロックしたタイプです。

¥ 280,000-(定価・税別)

2) 技術情報

Nikon Ti-E と MetaMorph の動作不具合に関して

Nikon 社製倒立電動顕微鏡 Ti-E と MetaMorph の組み合わせで不具合がありましたら、電動顕微鏡内部ファームウェアのバージョンを上げると解消する可能性があります。

既に Ti-E をお持ちのユーザー様が、MetaMorph 制御をお考えの場合にはご注意ください。

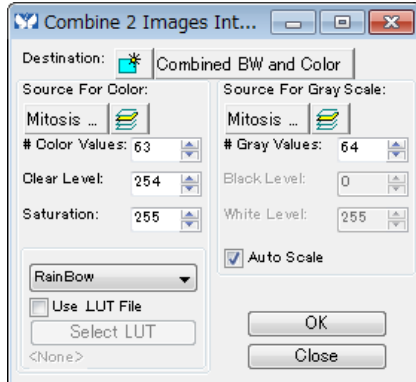
詳細につきましては、当社担当営業までご連絡下さい。

3) Journal の紹介情報

明視野画像と蛍光(Pseudocolor 表示)を重ね合わせる Journal について

ここでは発光システムなどで取得された2枚の画像で、発光の画像を明視野画像に重ね合わせる機能について紹介致します。

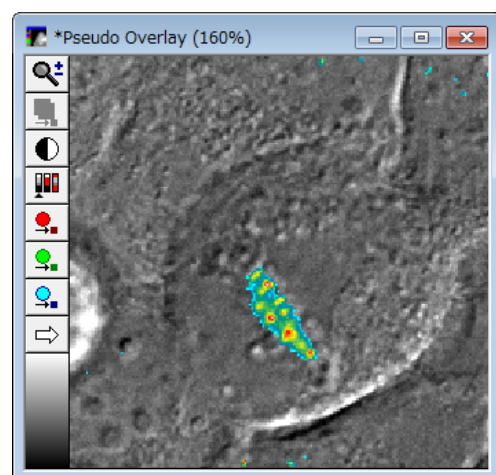
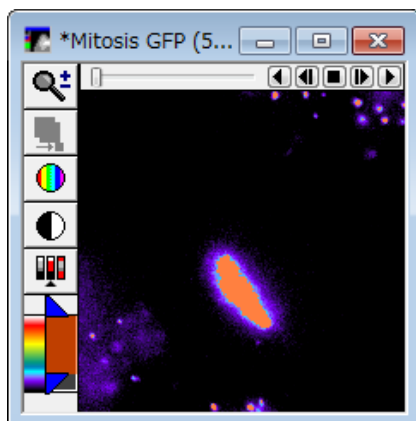
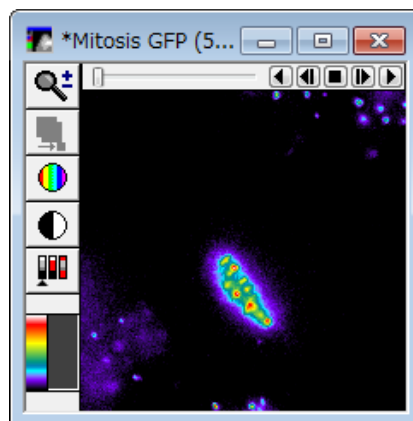
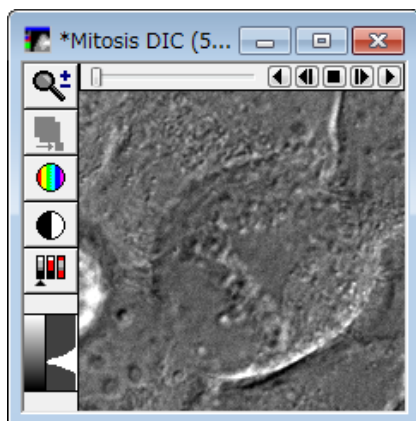
既に、MetaMorph では標準機能で重ね合わせが可能です。(下記のようなウィンドウで Drop-in は「comb_bwc drop-in」になります。Display menu に無ければ Drop-in の設定変更をお願いします。)



今回、ご紹介する Journal は、MetaVue もしくは MVDOC ユーザー向けに作成されており設定も非常に簡単です。

明視野画像と発光画像 (AutoScale を外し、LUT を Pseudocolor に設定した) 画像を開き、Journal を実行します。

2つの画像をそれぞれアサインし、Pseudocolor 画像に閾値 (Threshold) を設定しますと右下のような画像を構築することが可能です。(左下は閾値を設定した画像)



以上